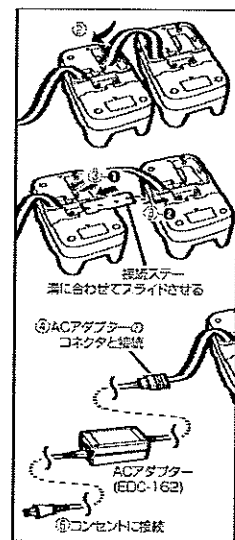


連結スタンド EDC-158R による充電
EDC-158Rを使用して連結充電する場合、必ず大容量のACアダプターEDC-162が必要で

- ①ACアダプターがEDC-162であることを確認します。
②スタンドのコネクタどうしを接続します。スタンドは最大4台まで連結できます。
③付属の接続ステアをスタンド底面の溝に合わせてスライドさせます。
④ACアダプターのコネクタを、別のスタンドのコネクタに接続します。
⑤ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
⑥トランシーバーまたはバッテリーパック単品を充電スタンドのポケットに挿入します。
充電が開始され赤色ランプが点灯します。
⑦充電が完了すると赤色ランプが消灯します。



基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

交互通話.....

電源を入れる

電源/音量ツマミを時計方向に回します。

音量を調整する

電源/音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくになります。
マキーとムキーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。
適切な音量に調整してください。

チャンネルを合わせる

マまたはムキーを押して交互通話用チャンネルのLO1～09、b01～11を選択します。
通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。
キーを押したままと連続してチャンネルが切り替わります。

受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。
ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

送信する

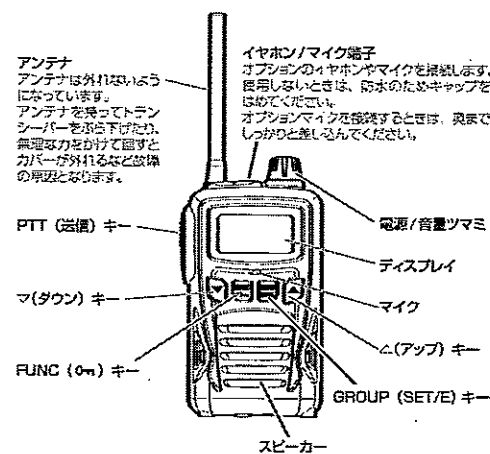
信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。
→[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm離してください。
一定の強さ以上の信号を受信しているときは警告音「ププ」が繰り返し送信できません。
[PTT]キーを離すと受信待ち受け状態に戻ります。

コールトーン機能

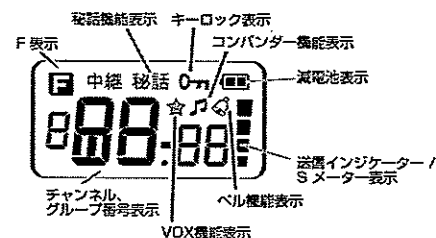
送信中にマまたはムキーを押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。
マとムキーでは音色が異なります。

各部の名前とはたらき

前面部.....



ディスプレイ.....



グループトーク機能.....

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

ノイズ音や混雑を低減する効果があります。

[GROUP] キーを押す

→グループ番号が点灯します。

グループ番号を合わせる

[FUNC] キーを押しながらマまたはムキーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。

グループ番号は01～50を選択できます。

送信する

[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。
→同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

キーロック.....

キーロックしておくことで誤操作を防止できます。

簡易キーロック (Loc1)

[FUNC] キーを約2秒押します。
→「Loc1」が点滅したあと「0m」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

通常キーロック (Loc2)

[FUNC] キーと[GROUP] キーを同時に約2秒押します。
→「Loc2」が点滅したあと「0m」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

セットモード

各種機能を用意やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする.....

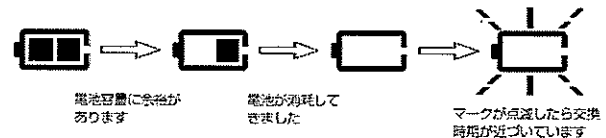
- ①[FUNC]キーを押しながら[SET]キーを押します。
→セットモードに入り項目が表示されます。
②[SET]キーを押すことで項目が切り替わります。
[FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
③マまたはムキーを押して設定値を変更します。
④[PTT]キーを押して設定を完了します。

メモ セットモードについての詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.alinco.co.jp/>「電子事業」

セットモード	機能説明	最終項目	初期値
bt-AL	電池選択 (アルカリ / Li-Ion / Ni-MH)	AL / LI / ni	AL
CP-oF	コンパンダー (雑音低減)	OFF / ON	OFF
vo-oF	VOX (音声検知送信)	OFF / Lo / Hi	OFF
SC-oF	秘話	OFF / ON	OFF
bP-Lo	ピープ音量 (発着音)	OFF / Lo / Hi	Lo
EP-on	エンドビー (送信終了音)	OFF / ON	ON
bl-oF	ベル (呼び出しお知らせ)	OFF / ON	OFF
LP-5	ランプ	OFF / 5秒 / ON	5秒
PH-oF	PTT ホールド (送信保持)	OFF / ON	OFF
Pt-on	PTT オンオフ (送信禁止)	OFF / ON	ON
Er-on	イヤホン/断線検知	OFF / ON	ON
Ob-oF	コールバック	OFF / ON	OFF
Po-Hi	送信出力 (Hi: 10mW / Lo: 1mW)	Lo / Hi	Hi
EG-oF	緊急連絡機能 (「SET/E」長押しで通報)	OFF / ON	OFF

減電池表示.....

電池の残量はディスプレイに4段階で表示されます。



「電源が入らない」「ON / OFF を繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられます。
新しい電池と交換してください。

しばらくご使用にならないときは、必ず電池を取り外してください。

メモ 「電池選択 (セットモード) 設定が適正でないと正しいタイミングで電池交換時期を表示しません。」

リセット.....

設定状態や操作がわからなくなったときに初期化します。

[FUNC] キーを押しながら電源を入れます。
→ディスプレイ全点灯中に[FUNC]キーを離します。
→工場出荷状態のLO1チャンネルになります。

その他の機能

本書には記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.alinco.co.jp/>「電子事業」
内容をよく理解してからこれらの機能をお使いください。

デュアルオペレーションモード

メイン/サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することが出来るモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。

メモ 讀ってこれらのモードに切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入れ直すと正常な状態に回復することがあります。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。 表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。 電池が消耗している。	電池を正しく入れ直してください。 新しい電池と交換してください。 充電電池を充電してください。
音が出ない。 受信しない。	音量が低すぎる。 チャンネルが空ろ。 グループ番号が違う。	適切な音量に調整してください。 同じチャンネルに合わせてください。 同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。 3分の通信制限時間を超過している。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。 PTTキーを離し2秒たってから送信してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない	充電端子が汚れている。 充電電池が専用品でない。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。 専用充電電池 EBP-25NH、EBP-70 を使用してください。

処置を実施しても異常が無くときはリセットしてください。
電池が消耗していると誤動作することがあります。新しい電池と交換してください。

製造中止製品に対する保身年限に關して

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありま
すのでご了承ください。
補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

オプション一覧

EBP-25NH ニッケル水素バッテリーパック	EME-21A8 イヤホンマイク (カナル型)
EBP-70 リチウムイオンバッテリーパック	EME-29A イヤホンマイク (耳かけ型)
EDC-109J ツイン充電器セット (EBP-25NH 用)	EME-57A イヤホンマイク (カナル型/耳かけ)
EDC-115 シングル充電器セット (EBP-25NH 用)	EME-30A イヤホンマイク (ブームマイク)
EDC-158A ツイン充電器セット (EBP-70 用)	EME-31A イヤホンマイク (マイクレススピーカー)
EDC-158R ツイン充電スタンド (EBP-70 用)	EME-51A イヤホンマイク (耳かけ型)
EDC-162 連結充電用 AC アダプター	EME-52A イヤホンマイク (オープンエア型)
EDC-184A シングル充電器セット (EBP-70 用)	EME-53A ヘルメット用ヘッドセット
EME-6 ストライトコードイヤホン (オープンエア型)	EME-34A イヤホンマイク (カナル型)
EME-26 カールコードイヤホン (オープンエア型)	EME-49A イヤホンマイク (オープンエア型)
EME-50 ストライトコードイヤホン (耳かけ型)	EME-39A 両耳イヤホンマイク
EME-21A イヤホンマイク (カナル型)	EME-59 スピーカーマイク (PTT ホールド、VOX 機能搭載型)

チャンネル表示

L01	422.2000MHz	b01	422.0500MHz
L02	422.2125MHz	b02	422.0625MHz
L03	422.2250MHz	b03	422.0750MHz
L04	422.2375MHz	b04	422.0875MHz
L05	422.2500MHz	b05	422.1000MHz
L06	422.2625MHz	b06	422.1125MHz
L07	422.2750MHz	b07	422.1250MHz
L08	422.2875MHz	b08	422.1375MHz
L09	422.3000MHz	b09	422.1500MHz
		b10	422.1625MHz
		b11	422.1750MHz

定 格

送受信周波数	422.0500MHz～422.1750MHz / 422.2000MHz～422.3000MHz
電 波 形 式	F3E (FM)
送 信 出 力	10mW / 1mW
受 信 感 度	-14dBu (12dB SINAD)
音 量 出 力	400mW 以上 (本体スピーカー) / 80mW 以上 (外部出力)
通 信 方 式	単信
定 格 電 圧	DC4.5V (単三形乾電池3本)
動作温度範囲	-10℃～+50℃
寸 法	幅 54.8mm × 高さ 84mm × 厚さ 27.3mm (突起除く) アンテナ上方向状態の全高さ 165.4mm
重 量	約 174g (単三形乾電池3本含む/ベルトクリップ除く)

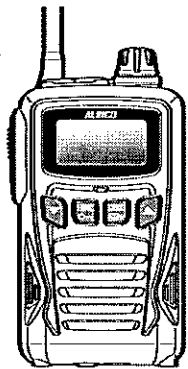
仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。
本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。

特定小電力ハンディトランシーバー
(総務省技術基準適合品)

DJ-PB20

取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。
拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。



アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通話にお使いいただけます。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒100-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL:03-3278-5888
大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区南船場4丁目4番9号 道徳ビルビル13階 TEL:06-7636-2281
福岡営業所 〒812-0016 福岡市東区博多駅前1丁目3番6号 第3博多ビルビル7階 TEL:092-773-0034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイヤル ☎ 0120-464-007

発行所 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL:03-3278-5888
ホームページ <http://www.alinco.co.jp/> 「電子事業」をご覧ください。

PS0799
FNEHNE

使用前の注意

■ご使用環境
高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

■分解しないで
特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

■ご使用禁止場所
本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては電波電圧を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。

(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院敷地内)
日本国内でのみ使用してください。
This product is permitted for use in Japan only.

■通信距離
通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。

・海上、山岳など条件のよい所：2km またはそれ以上
・河川など障害物のない平地：500m ~ 1km 程度
・見通しのよい道、郊外の住宅地：500m 程度
・市街地などの多い所：200m 程度

【注意】ローパワー時は、半分以上になります。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3分制限 (3分以上は連続で送信できません)

10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。

【注意】3分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約2秒ほど待たないと次の送信はできません。

キャリアセンス (受信中は送信できません)

一定の強度以上の信号を受信しているときは [PTT] キーを押しても送信できません。受信中に [PTT] キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

【注意】ビープを OFF にしているとき、アラーム音は鳴りません。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への被害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
	危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が怪傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。
図記号	表示の意味
	△記号は、注意 (危険・警告含む) を促す内容があることを告げるものです。△の中には具体的な注意内容が描かれています。
	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。○の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
	✖記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。✖の中には具体的な指示内容 (左図の場合は AC アダプターをコンセントから抜く) が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは使用などの外部環境によって通信などの機能を失ったために生じた損害などの経済的損害につき示しては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

警告・注意

■使用環境・条件

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

この製品を、または他のトランシーバーとともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

指定以外のオプションや他社のアクセサリ製品を接続しないでください。故障の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型トランシーバーを運転中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

付属品と取り分け方

付属品をご確認ください

□ベルトクリップ

□ハンドストラップ

□取扱説明書 (本書)

□保証書

【注意】保証書にご購入の日付が記載されていないときは、保証書・シールを保証書といふように保管してください。ご購入日が不明である場合は保証書・シールは保証書となりますのでご注意ください。

ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを本機の背面にスライドさせてはめ込みます。取り外すときはロックレバーを押さながら下方へスライドします。

【注意】ベルトクリップを破損・紛失した場合はご購入が可能です。

ハンドストラップの取り付け

本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。

電池の入れ方

①カバーを開ける
ロックを外してカバーを開けます。
②電池を入れる
+/− の表示に従って単三形乾電池3本をセットします。
③カバーを閉める
カバーを閉めロックをかけます。

【注意】環境に有害な電池や、新品と古い電池を混ぜて使用しないでください。市販の単三形乾電池はご使用になれません。しばらく使用しないときは電池をトランシーバーから取り外してください。電池を入れたままでは破損すると修理できなくなります。電池カバーやダイヤルツマミは消耗品としてお求めいただけます。販売店へご用ください。

電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。運行の安全や乗客の乗降、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。

病院や医療機関では、医療機器などに支障がない十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。トランシーバーを使用したことによって、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

高温の多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。

くらくたの上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となる場合があります。

直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、高温に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となる場合があります。

調理台や洗濯機のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。

電波を使用している関係上、トランシーバーの通話は第三者による傍受を完全に防止することはできません。また、傍受を受ける重要な通話に使用することはお勧めできません。

電波を使用している関係上、トランシーバーの通話は第三者による傍受を完全に防止することはできません。また、傍受を受ける重要な通話に使用することはお勧めできません。

衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外となります。

トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因となる場合があります。

アンテナを折って目などに当たらないようにしてください。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、電池を取り出し、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

マイク部にシール等を貼らないでください。相手に音声がかえらなくなります。

このトランシーバーは調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。サイズ違いのアンテナに交換することはできません。

防護保護には条件があります。水などでぬれやすい場所 (風呂場など) では使用しないでください。故障の原因となります。

市や市団で壊れたりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を浴びて風通しの良い状態で使用してください。

水をかけたり、水が入ったりしないよう、また故障にめざさないようご注意ください。故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

イヤホン/マイク/ホン端子にはオプションのイヤホン/マイク/ホン以外には接続しないでください。故障の原因となる場合があります。

衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外となります。

充電器の取り扱いについて

充電器の AC アダプターを、AC コンセントに確実に差し込んでください。AC アダプターの刃に金属などが絡めると、火災・感電・故障の原因となります。

指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器の AC プラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器の AC アダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

充電器の AC アダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

充電器の AC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。必ず AC アダプターを持って抜いてください。

充電器の AC アダプターを熱源に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。

充電器の AC アダプターを熱源に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。

充電器の AC アダプターを熱源に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。

充電器の AC アダプターを熱源に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。

充電器の AC アダプターを熱源に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となる場合があります。

異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源を OFF にして、電池を取り出し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。異常は故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご相談ください。お客様による修理は、違法です。絶対におめください。

■異常音が出たり、煙が出たり、発熱したりするとき
■活きたり、ケースが破損したりしたとき

■内部に水や異物が入ったとき
■AC アダプターのコードが傷んだとき (芯線の露出や断線など)

■雷が降り出したら安全のため本体の電源を OFF にし、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■保守・点検

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。ペンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを塗ったり外装や文字が変質する恐れがあります。洗浄剤などを直接トランシーバーに吹きかけないでください。機器内部に浸透し故障の原因となります。

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を OFF にし、電池を取り出し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

本体や充電器のケースは、開けないでください。けが、感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。

製造番号ラベルをはがさないでください。製造番号がわからなくなると保証サービスをお受け頂くことができません。

充電電池および充電器 (オプション)

充電電池、充電器および関連するアクセサリは下記のとおりです。

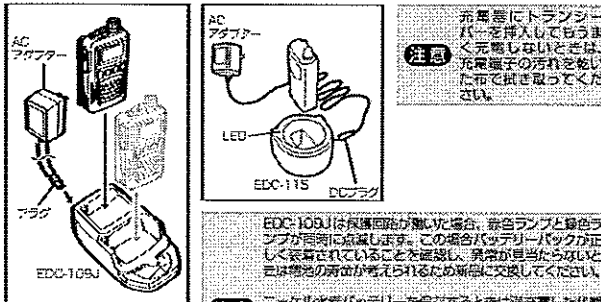
ニッケル水素バッテリー	EBP-25NH (3.6V / 500mAh)	リチウムイオンバッテリー	EBP-70 (3.7V / 1000mAh)
充電器セット	EDC-109J (充電約2時間)	充電器セット	EDC-158A (充電約25時間)
充電器セット	EDC-115 (充電約12時間)	充電器セット	EDC-152R (充電約25時間)
		充電器セット	EDC-162
		充電器セット	EDC-124A (充電約25時間)

実用時には指定した充電ができる EBP-70 をお買いください。

【注意】充電電池は使用時には十分に充電されていません。お買い上げ時に充電器とからご使用ください。他社の充電器は対応する充電器と異なります。市販の充電器を使用すると故障の原因となります。充電器はトランシーバーの電源を切ってください。

ニッケル水素バッテリー EBP-25NH の充電 (EDC-109J/EDC-115)

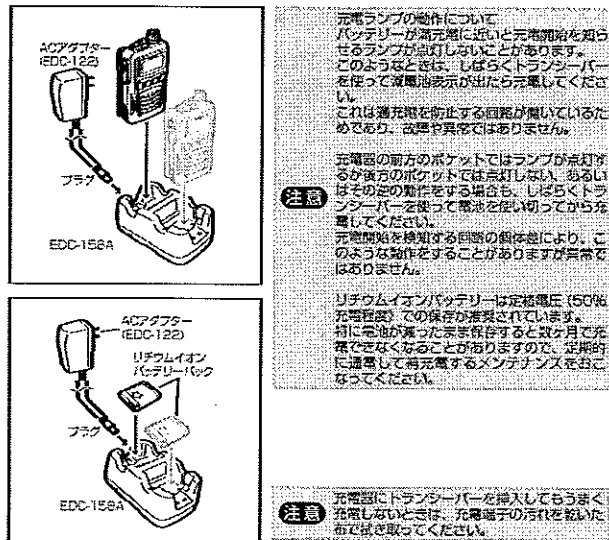
①ニッケル水素バッテリー EBP-25NH を極性に注意してトランシーバーに装着します。
②AC アダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
③AC アダプターを家庭用コンセント AC100V に接続します。
④トランシーバーを充電スタンドのポケットに挿入します。
⑤充電が開始され EDC-109J では赤色ランプが点灯し、EDC-115 では赤色ランプが点灯します。
⑥EDC-109J では充電が完了すると緑色ランプが点灯します。
⑦EDC-115 では約12時間で充電が完了します。時間が経過したらトランシーバーを充電スタンドから抜いてください。EDC-115 の赤色ランプは通電を示すものであり、トランシーバーを挿入しているときは常に点灯しています。



【注意】EDC-109J は保護回路が働いた場合、赤色ランプと緑色ランプが同時に点灯します。この場合バッテリーパックが正しく装着されていることを確認し、充電が正常に行われていることを確認してください。充電が完了したら充電器から取り外して保管してください。また3ヶ月に1度は電池を完全に使い切って満充電するメンテナンスをおこなってください。これを怠ると電池が劣化して充電できなくなることがあります。

リチウムイオンバッテリー EBP-70 の充電 (EDC-158A/EDC-184A)

①リチウムイオンバッテリー EBP-70 を極性に注意してトランシーバーに装着します。
②AC アダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
③AC アダプターを家庭用コンセント AC100V に接続します。
④トランシーバーを充電スタンドの、前後いずれかのポケットに挿入します。
⑤EDC-158A は2台同時に充電することもできます。
⑥充電が開始され赤色ランプが点灯します。
⑦充電が完了すると赤色ランプが消灯します。EDC-184A では緑色ランプが点灯します。
⑧バッテリーパック単品で充電することもできます。バッテリーパックの極性に注意して充電スタンドに装着してください。



【注意】充電器にトランシーバーを挿入してしばらく充電しないときは、充電端子の汚れを拭いてください。